



中富地区社協だより



発行：中川富岡地区社会福祉協議会 発行責任者：会長 鶴岡公一 編集責任者：広報部会長 多田啓三 連絡先 (0438) 63-3888

令和5年度を振り返って



新型コロナウイルス感染症が収まり令和5年度の中富地区社会福祉協議会の事業活動は、年度活動計画に基づいて実施されそれぞれに成果をあげることができました。第28回地区敬老会を始めとしてお花見昼食会、バスハイク、いきいきサロン、いきいき料理教室、地域福祉フェスタその他部会活動も活発に実施しました。これらは地域の皆さんのご理解とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。過疎化や高齢化が進む中富地区の実情を考えますと地域での心の通った「共生社会の創造」のために皆さんのご理解・ご協力和地区社協の充実が必要となります。今後ともよろしくお願いたします。

楽しい地区敬老会を開催

第28回中富地区敬老会
は令和5年9月18日(月)・敬老の日)に平川公民館において150名が来場され開催されました。「コロナ明けの本格的なイベント」となり多くの来場者に主催者の安堵の思いが伝わりました。当日は、鶴岡公一会長のあ



いさつから始まり、地区民生委員・児童委員の紹介がありました。次に結婚50周年(金婚)夫婦の5組の方々、さらに来場者の中から男女の最高齢者に記念品が贈呈されました。ここで来場者お待ち兼ねの演芸と進み、中川小学校5年生の27人による合唱と合奏の発表があり、来場者と一緒に手拍子をする「クラッピングファンタジー」で楽しみ、最後は「みかんの花咲く丘」では来場者も歌うという楽しい発表となりました。次は健康体操となり地域包括支援センターひらかわサプセンター保健師の指導で来場者の皆さんが体を動かしていました。休憩をはさんで藤栄会の皆さんによる民謡木更津甚句他5曲と三味線合奏2曲が披露され、最後は関勇さん夫婦による舞踊「旅笠道中」「おしどり人生」が披露されました。様々な演芸が披露された後はお楽しみ抽選会で締めくくりとなりました。アフターコロナの敬老会は9月の残暑の中での開催となりましたが、来場者の皆さんから「来てよかったです。楽しかった。」と感謝の言葉がありました。



賑やかに地域福祉フェスタ



「たすけあいとささえあい」のある まちづくり」をテーマに第15回榎ヶ浦市地域福祉フェスタが12月10日(日)に平川公民館で開催され、当日は約650人と多くの人が来場されました。このフェスタは、地域で協力してみんなが安心して暮らせる「地域共生社会」の実現を目的に実施されました。フェスタに先立ち社会福祉協議会による表彰式が行われました。続いて地域福祉フェスタ実行委員会によるフェスタが開催され、メイン会場では舞踊、フラダンス、平川中学校の吹奏楽、中川小学校とシニアクラブとの合唱、百目木の神楽保存会による神楽等が華やかに披露されました。また各会議室では各団体の催物が開催され、玄関前のポーチでは子供たちの催物、市内の各地区社会福祉協議会による模擬店が出されて賑わいました。中富社協は、焼きそばと焼きいもを販売し盛況でした。アフターコロナの初めての開催に多くの親子連れ、お年寄り仲間や夫婦等がフェスタを楽しんでいました。



ふれあいバスハイク(茨城)



令和5年度の中富地区社協の「ふれあいバスハイク」は、令和5年10月20日(金)に茨城県南を訪れ実施されました。

75才以上の高齢者および一人ぐらしの方が参加し、スタッフとともに秋晴れの1日を楽しみ満喫しました。プロンズ製の立像としては世界最大120mの牛久大仏の胎内拝観をし、高所から筑波山や関東平野を一望しました。その後豪華なランチをいただきました。帰り道にはポケットファーム牛久店でお土産を求め、帰路に着きました。一人ぐらし高齢者の方から「同じ仲間と楽しく会話や買物もできて、来年もまた参加したいです」との感想がありました。

和やかな「いきいき料理教室」

令和5年10月26日(木)に富岡分館において「食べて元気にフレイル予防」をテーマに男性4名女性13名の総勢17名が参加して「いきいき料理教室」が開催されました。高齢



者のフレイル予防にはタンパク質の摂取が必要とのことで、食生活改善推進員の指導のもとにたんぱく質の摂取に重点を置いた料理5点に挑戦しました。「今まで「男子厨房に入らず」でやってきた」と話す男性参加者は初めての餃子の皮包みに真剣な表情で取り組んでいました。当日の調理室ではとても賑やかに和気あいあいと調理は進められ、料理が完成した後は全員での試食となりました。ある女性の参加者は「普段いかに塩分の多いものを食べているかがよく分かった」と感想を話されていました。フレイル予防のために



「たくさん食べて」「たくさん出かけて」「たくさん笑いましょう」で締めくくられました。



視察研修実施(八千代方面)



令和5年度事業推進委員の先進地視察研修は令和5年11月1日(水)に八千代方面へ総勢23名の参加を得て実施されました。

視察研修先となる八千代市の米本団地内にあるネイバーフッドプレイスは、1970年に建てられた団地が50年以上が過ぎて団地住民の高齢化が進んで買物困難、地域での交流拠点の存在等の問題を解決すべく設立されました。撤退した銀行の跡地を利用して孤食とフードロス等を含め新しいコミュニティづくりを目指して運営されています。地元

の野菜を使い気軽に立ち寄れるレストラン、お年寄りへの食事配達等を実施しています。広い並木通りにはお年寄りの姿が目立ち団地全体が高齢化社会での地域福祉のあり方を考えさせられるものでした。私たちの中富地域でも高齢化や過疎化が進んでいてコミュニティ拠点づくりの必要性を



実感しました。研修は八千代市の道の駅「やちよ」に寄り地元のお年寄りの農産物の販売を見学し、その後京成バラ園で散策を見学しながらバラの鑑賞をしました。高齢化の進むなかでの地域福祉を学び、推進委員の親睦も出来て有意義な視察研修の一日でした。



高齢者生活支援事業を学ぶ



事業推進委員の研修会が去る2月7日(水)に平川公民館1階多目的室で25名が参加して開催されました。当日

は、袖ヶ浦市高齢者支援課の松尾孝洋氏を講師に招き「高齢者の生活を支援する事業の概要について」と題し、高齢者の生活支援をする各種事業について学びました。高齢化と過疎化が進む中富地区での高齢者福祉を進めるための事業と活動を学び今後の地区社協の活動に生かしていきたいと改めて思いました。